

今どきの

フォトフェス2022 ～大学生が写した名村造船所～

池田 亮*
Ikeda Ryo



1. 概要

この度、『フォトフェス2022』と銘打ち、大学生による名村造船所での写真撮影会を開催しましたので、皆様にご紹介したいと思います。

このフォトフェスは、一人でも多くの学生に船づくりの魅力をもっと知って欲しい！との思いに端を発し、総務部人事教育グループにて企画立案の上、各大学の写真部にお声掛けした結果、実現に至ったものです。また、造船所や船づくりという仕事の「カッコよさ」について、若者の目にはどう見えているのだろうか？筆者としても大変興味があり、期待に胸を膨らませながら対応しました。

また、撮影された写真の一部は、各大学写真部の SNS 等だけでなく、大学祭や展示会などでも公開される予定ですので、読者の皆様も是非一度、会場に足を運んでいただき、撮影者やご来場の方々と浪漫溢れる船づくりの魅力について語り合っただけであれば幸いです。

2. 参加団体ご紹介

今回のフォトフェス参加団体は、原稿執筆時現在で、佐賀大学写真部、福岡工業大学写真部、東京海洋大学越中島写真部のみなさんです。また、他にも趣旨に賛同いただき、撮影に向けて調整を進めている団体もいくつかありますが、今回は執筆時点で撮影が確定している3団体について、それぞれ自己紹介していただきます。

佐賀大学 写真部

この度は貴重な機会をいただきありがとうございます。また、社員の皆様にも撮影にご協力いただき、感謝申し上げます。

現在、部員数45人で「自由に！気ままに！真剣に！」をモットーに部員各々が日々写真とカメラと向き合っています。毎週水曜日に定例会を開催し、月に数回の頻度で近隣や時には遠征して撮影会を実施しています。撮影した写真は、Instagram や Twitter にて公開しています。

また、2022年10月29日(土)の大学祭では写真展を開催し、名村造船所ブースを設けて、今回の撮影写真を展示する予定ですので、当日は、ぜひ本庄キャンパス附属図書館まで足をお運びいただければ幸いです。

※撮影年月：2022年5月、7月、9月



  @Sagauni_Photo

福岡工業大学 写真部

私たち福岡工業大学写真部は、部員数170名で活動しています。主な活動としては、月に数回の撮影会、部内ミニオンライン展示会、年に数回で学内や学外で展示をしている他、他大学の写真部と合同撮影会や企業様と撮影会などを行い、交流をしています。部室にはフィルム現像室があり、デジタルからフィルムまで幅広い種類の写真を取り扱っており、部員同士自由に写真を撮っています。部員が作成した写真などInstagramに投稿しています。今回、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

※撮影年月：2022年8月



 fit_photoclub

東京海洋大学 越中島写真部

公認サークルとなってから3年目、部員数は21名です。年2回の学祭での展示と年1回の学外の施設を借りての展示会を行うため、日々撮影や部会を行っています。新型コロナウイルスの感染拡大で名村造船所へはまだお伺いできていませんが、お伺いできた暁には海事系大学の写真部として造船所、船の魅力を発信出来るような写真をたくさん撮りたいと思っています。

撮影した写真はTwitterやInstagramにて公開しておりますので、ぜひご覧いただければと思います！

※撮影年月：2022年9月予定(2022年7月執筆当時)



 @Etchujima_photo

 etchujima_photo

3. 撮影会

撮影会は、本年5月から、各団体ごとに少人数ずつ数回にわたって開催しました。大学生は、当社伊万里事業所を訪れ、筆者らと共に工場内を歩いて周りながら、船づくりの風景や人物などを思い思いに写真に収めました。ここでは、撮影者自身に選んで貰った作品のほんの一部ではありますが、次頁以降に紹介しますので、ご覧ください。

いかがでしょうか？今回、大学生が自由な発想で撮影することで、筆者らが普段イメージしているものとは少し異なる視点から、造船の魅力を改めて再認識することができたのではないかと思います。なお、今後は船舶海洋事業だけでなく、鉄構事業の架設現場等の撮影も計画しています。造船や橋梁といった当社事業の魅力が、大学生の写真を通して、他の同世代の皆様にも、より多くより広く伝わって欲しいと心から願っています。

また、秋以降には、それぞれの参加団体主催での展示会なども計画されていますので、筆者自身、できるだけ足を運んで見てみたいと思っています。

4. 謝辞

今回ご参加いただきました 佐賀大学写真部、福岡工業大学写真部、東京海洋大学越中島写真部 の皆様には、多忙の中、また暑い中、造船や橋梁の魅力を撮影していただき、また当記事執筆に快くご協力いただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

#佐賀大学 写真部

「タイトル」 撮影者コメント



「一心」 黙々と作業する姿が目に残りました。



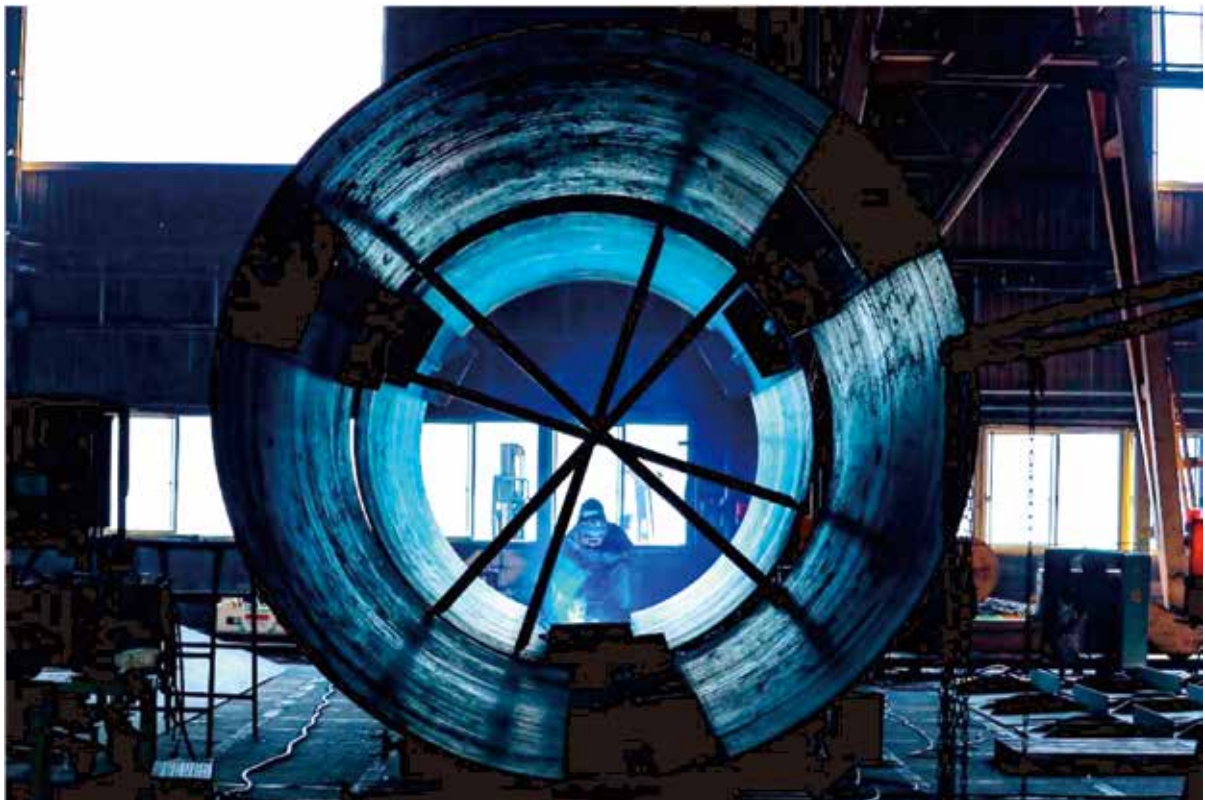
「真剣な」 真剣な眼差しが格好良かったです。



「煌煌」 溶接工は何度見ても格好いいです。



「豪」 逞しい姿に思わずシャッターを切りました。



「円筒」 シンプルにかっこよかったです。一生懸命に働いている姿は素敵です。

#佐賀大学 写真部



「軌跡」

完成した船の綺麗な体の中には、確かに作りあげた人たちの努力や工夫の結晶の線が沢山詰まっているのだと思いました。

「支えある世界」

生まれて初めて造船所を見学させて頂きました。船そのものや部材を間近で見させていただきながら写真を撮らせてもらいましたが、どれも圧巻でした。

肌で感じる部材の迫力とそれを作る造船所の皆さんのひたむきさ。私が撮った写真を通して、それらが少しでも伝わればと思います。



「青い嵐」

初夏。広大な光景が眼前に広がる中、目の前を風が通り過ぎる。



「自転車」

構内の移動は基本自転車。心地よい潮風を感じながらペダルをこぐ。

#佐賀大学 写真部

「縁の下」

社員のそれぞれの働きがあって初めて大きな製品が出来上がるというものです。

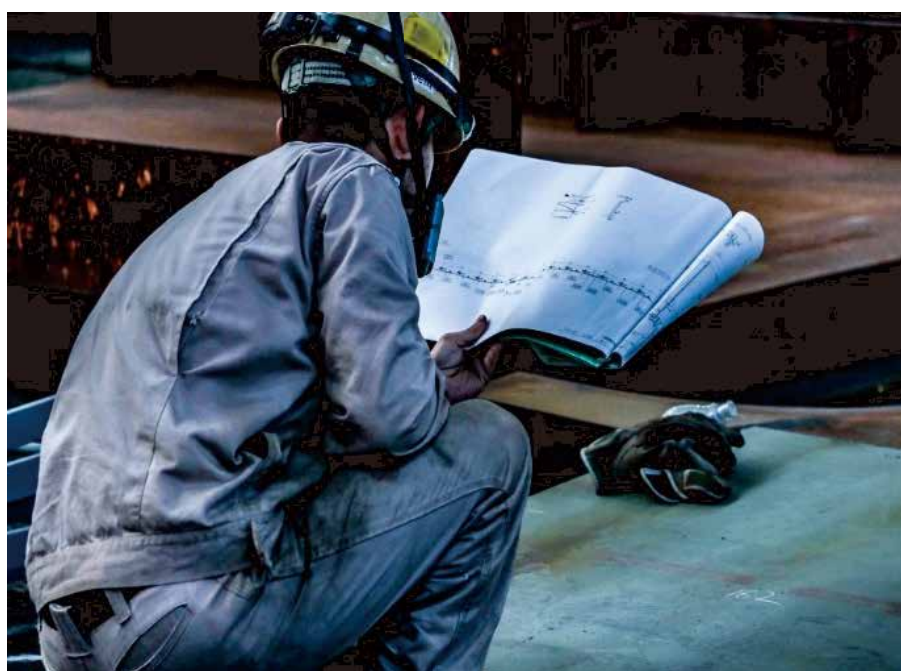


「背負う背中」

陽の光が注ぐ窓を背に真摯に作業に向き合う姿を通して壮大な完成図を描いている心を感じました。

「図面」

図面を確認しながら一つ一つ丁寧に作業している。とても鋭くて真剣な眼をしていました。



#福岡工業大学 写真部



「熟練」

作業を黙々と最適化された動作でこなす様が印象的でした。



「集中」書類を確認しながら丁寧に作業している姿に惹かれました。



「工程」様々な作業が見れて良かったです。

「ポツネン」

機械の前で一人で作業する姿が印象的でした。



#福岡工業大学 写真部



「背中」

広く大きな背中がカッコよかったので写真で切り取ってみました。



「安全は全てに優先する」

人命や安全に優るものはないと思いました。



「火花」暑さにも負けずに一心に作業に取り組む姿がカッコ良かったです。



「共」機械、人間の共同作業している姿を撮影しました。

#福岡工業大学 写真部



「継承」若い世代と上の世代と一緒に業務を行い、知識や技術の伝承が行われていることが感じられました。

#佐賀大学 写真部



「明日」この作業が大きな製品の一部になる。そのような未来を思い描いているような絵が撮れました。